スリムヘビー10、スリムヘビー10合板タイプ　取扱説明書

※ご使用前に必ずお読みください。

ハウスプラス確認検査(株)性能試験

用　途

■柱と土台、柱と横架材の接合に使用します。

特　長

■本体の幅が30mmのため、真壁等で筋かいとの取り合いの場合に最適です。
■ホールダウン金物10kN用を使用しなければならない柱頭・柱脚の接合に使用できます。
■外周部に金物を出さずに接合できます。
■接合ビスの頭が四角穴なので、ビットの破損がほとんどありません。
■本体・ビス共にクロムフリーを実現し、環境に配慮した製品となっております。
■スリムヘビー10合板タイプは、合板仕様の場合、床合板(30mmまで)の上から接合でき、枠材仕様の場合、枠材(30mm)もしくは床合板(30mm)の上から接合できますので、面倒な床合板や枠材の欠き込みが不要です。※スリムヘビー10は床合板または枠材の上から使用できません。

スリムヘビー10	
建設省 告示1460号 第2号	短期基準接合引張耐力(Pot)
[へ]対応	(中柱) 10.7kN (隅柱) 10.2kN

スリムヘビー10合板タイプ		
仕様	建設省 告示1460号第2号	短期基準接合引張耐力(Pot)
合板仕様	[へ]対応	(中柱) 10.1kN (隅柱) 10.0kN
枠材仕様	[へ]対応	(中柱) 10.4kN (隅柱) 10.8kN

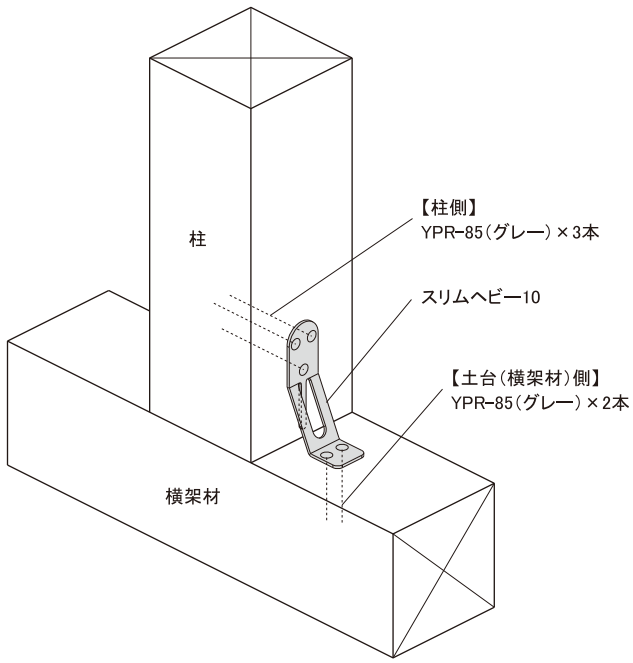
接 合 具

スリムヘビー10	専用ビス YPR-85(グレー)×5本
スリムヘビー10合板タイプ	専用ビス【柱側】YPR-85(グレー)×3本 専用ビス【土台(横架材)側】YPR-115(Mグリーン)×2本

施工方法

本体の“柱”と刻印があるほうを柱側にして、付属ビスで接合します。

スリムヘビー10



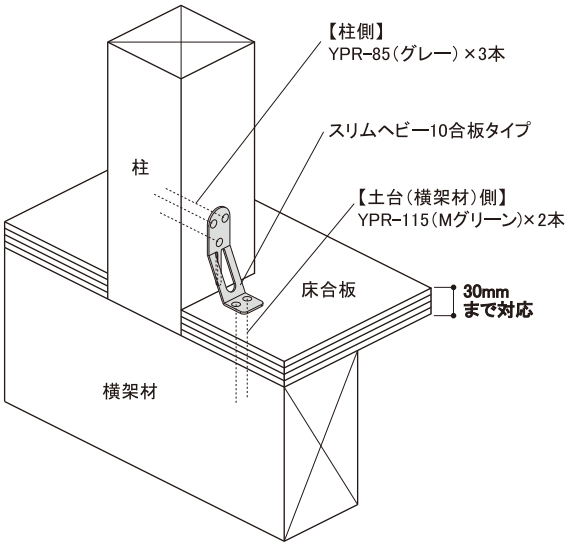
スリムヘビー10合板タイプの施工方法は 裏面 をご覧ください ➡

施工方法

本体の“柱”と刻印があるほうを柱側にして、付属ビスで接合します。

スリムヘビー10合板タイプ

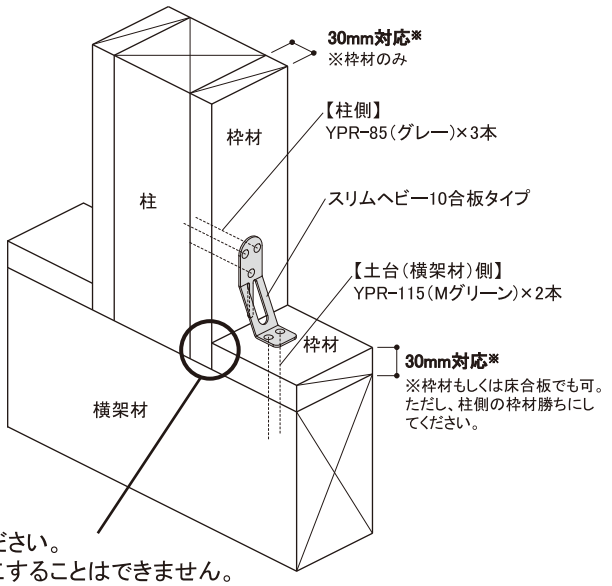
合板仕様



枠材仕様　柱側に30mmの枠材、横架材側に30mmの枠材もしくは床合板を介して施工できます。

注意!!

① 柱側の枠材勝ちにしてください。※柱側の枠材のみで施工することはできません。
② 柱側の枠材を固定する釘は、N75の釘を300ピッチ以下で、8本以上留め付けてください。



柱側の枠材勝ちにしてください。
※柱側の枠材のみで施工することはできません。

スリムヘビー10の施工方法は **表面** をご覧ください ➡

注意!!

床合板や枠材を介さない場合、スリムヘビー10をご使用いただくか、土台及び梁成を120mm以上にして合板タイプをご使用ください。合板タイプは土台（横架材）側専用ビスが115mmのため、土台及び梁成が120mm以上でないとビスが貫通します。

注意事項

■ 必ず付属の専用ビスで接合してください。
※ビスの本数を減らしたり、専用ビス以外の接合具を使用して取付けた場合、所要の耐力が得られませんのでご注意ください。
※締めすぎに注意!!　ビス頭を金物に接するまでねじ込んだ後、必要以上のトルク（ねじ込み）を加えないでください。
■ 1階柱脚部に使用する場合は、土台と基礎を適切に緊結してください。
■ ビス接合用の四角ビット（#3）は別売品です。
■ ケガに注意!!　手袋を着用するなど金物の切断面に注意して作業をしてください。
■ ビスを打ち込む際にも、軍手や手袋などをはめ、さらに保護メガネを装着し、怪我のないようにしてください。
■ 金物は所定の位置に取り付けてください。
■ 接合・締付け工具類は、適切なものをご使用ください。
■ 現場で防腐・防蟻処理他、薬剤を使用する場合は、金物に薬剤が付着しないように注意してください。金物本体や表面処理が著しく劣化する場合があります。
■ 放り投げたりハンマーで叩く等、乱暴に取扱うと破損や変形する恐れがあります。
■ 目的用途以外には使用しないでください。

K20150625A

KANESHIN 株式会社カネシン
本　　社 / 〒124-0022 東京都葛飾区奥戸4-19-12
Tel. 03-3696-6781　Fax. 03-3696-6770
技術的なご相談は　カネシンCSセンター
Tel. 03-5671-1077